

改定	現行	摘 要
<p data-bbox="329 709 1127 772">設計業務等標準積算基準</p> <p data-bbox="540 884 917 930">平成 29 年 10 月</p> <p data-bbox="498 1142 955 1178">平成30年5月 一部改定(第1回)</p> <p data-bbox="540 1556 923 1602">山梨県 県土整備部</p>	<p data-bbox="1567 709 2365 772">設計業務等標準積算基準</p> <p data-bbox="1771 884 2148 930">平成 29 年 10 月</p> <p data-bbox="1771 1549 2154 1596">山梨県 県土整備部</p>	

改定

第1章 地質調査積算基準

第1節 地質調査積算基準

別表第1

(1) 諸経費率標準値

対象額	100万円以下	100万円を超え3000万円以下		3000万円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	(2)の算定式により求められた率とする。ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
		A	b	
率又は変数値	59.9%	285.3	-0.113	40.8%

(2) 算定式

$$Z = A \times Y^b$$

ただし、Z：諸経費率（単位：％）

Y：対象額（単位：円）（直接調査費＋間接調査費）

A，b：変数値

（注） 諸経費率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。

現行

第1章 地質調査積算基準

第1節 地質調査積算基準

別表第1

(1) 諸経費率標準値

対象額	100万円以下	100万円を超え3000万円以下		3000万円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	(2)の算定式により求められた率とする。ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
		A	b	
率又は変数値	57.2%	300.01	-0.12	38.0%

(2) 算定式

$$Z = A \times Y^b$$

ただし、Z：諸経費率（単位：％）

Y：対象額（単位：円）（直接調査費＋間接調査費）

A，b：変数値

（注） 諸経費率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。

摘要

地質調査業務

改定

第1節 地質業務積算基準

第2節 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）

2-4 現場内小運搬

2-4-3 市場単価の設定

1. 市場単価の構成と範囲

市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。

調査費	市場単価		
	機	労	材
現場内小運搬	○	○	×



2. 市場単価の規格・仕様区分

表2.4.2 現場内小運搬の規格区分

種別	規格	単位
人肩運搬	50m以下	総運搬距離 t
	50m超100m以下	//
特装车運搬（クローラ）	100m以下	総運搬距離 //
	100m超300m以下	//
	300m超500m以下	//
	500m超1000m以下	//
モノレール運搬	50m以下	設置距離 //
	50m超100m以下	//
	100m超200m以下	//
	200m超300m以下	//
	300m超500m以下	//
	500m超1000m以下	//
索道運搬	100m以下	設置距離 //
	100m超500m以下	//
	500m超1000m以下	//

上表以外は別途計上する。

現行

第1節 地質業務積算基準

第2節 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）

2-4 現場内小運搬

2-4-3 市場単価の設定

1. 市場単価の構成と範囲

市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。

調査費	市場単価		
	機	労	材
現場内小運搬	○	○	×



2. 市場単価の規格・仕様区分

表2.4.2 現場内小運搬の規格区分

種別	規格	単位
人肩運搬	50m以下	総運搬距離 t
	50m超100m以下	//
特装车運搬（クローラ）	100m以下	総運搬距離 //
	100m超500m以下	//
	500m超1000m以下	//
モノレール運搬	100m以下	設置距離 //
	100m超500m以下	//
索道運搬	500m超1000m以下	//
	100m以下	設置距離 //
	100m超500m以下	//
	500m超1000m以下	//

上表以外は別途計上する。

摘要

地質調査業務

改定

表 2. 4. 3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分

種 別	規 格	単 位
モノレール運搬	50m以下	箇所
	50m超100m以下	〃
	100m超200m以下	〃
	200m超300m以下	〃
	300m超500m以下	〃
	500m超1000m以下	〃
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃
	100m超500m以下	〃 〃
	500m超1000m以下	〃 〃

上表以外は別途計上する。

表 2. 4. 4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分

種 別	規 格	単 位
モノレール運搬	50m以下	日
	50m超100m以下	〃
	100m超200m以下	〃
	200m超300m以下	〃
	300m超500m以下	〃
	500m超1000m以下	〃
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃
	100m超500m以下	〃 〃
	500m超1000m以下	〃 〃

上表以外は別途計上する。

3. 補正係数の設定

表 2. 4. 5 標高差における距離の補正係数

小運搬方法	補正值	換算距離の計算
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值

標高差は1m単位とする。

4. 間接調査費の算出

(人肩運搬, 特装車運搬)
 間接調査費＝設計単価×運搬総重量
 設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)

(モノレール運搬, 索道運搬)
 間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去)
 ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数
 設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。
 供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数

2-4-4 適用に当たっての留意事項

現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。

現行

表 2. 4. 3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分

種 別	規 格	単 位
モノレール運搬	100m以下	箇所
	100m超500m以下	〃
	500m超1000m以下	〃
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃
	100m超500m以下	〃 〃
	500m超1000m以下	〃 〃

上表以外は別途計上する。

表 2. 4. 4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分

種 別	規 格	単 位
モノレール運搬	100m以下	日
	100m超500m以下	〃
	500m超1000m以下	〃
索道運搬	100m以下	吊下げ荷重1t 〃
	100m超500m以下	〃 〃
	500m超1000m以下	〃 〃

上表以外は別途計上する。

3. 補正係数の設定

表 2. 4. 5 標高差における距離の補正係数

小運搬方法	補正值	換算距離の計算
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值

標高差は1m単位とする。

4. 間接調査費の算出

(人肩運搬, 特装車運搬)
 間接調査費＝設計単価×運搬総重量
 設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)

(モノレール運搬, 索道運搬)
 間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去)
 ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数
 設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。
 供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数

2-4-4 適用に当たっての留意事項

現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。

摘 要

地質調査業務

改定

現行

摘要

2-4-5 日当たり作業量

日当たり作業量は下表を標準とする。

表2.4.6 現場内小運搬の日当たり作業量

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
人肩運搬	50m以下	t 3.2
	50m超100m以下	" 1.3
特装車運搬(クローラ)	100m以下	" 3.5
	100m超300m以下	" 1.9
	300m超500m以下	" 1.4
モノレール運搬	500m超1000m以下	" 1.2
	50m以下	" 3.4
	50m超100m以下	" 2.8
	100m超200m以下	" 2.3
	200m超300m以下	" 1.0
索道運搬	300m超500m以下	" 1.0
	500m超1000m以下	" 1.0
	100m以下	" 5.0
	100m超500m以下	" 4.0
	500m超1000m以下	" 3.0

表2.4.7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
モノレール運搬	50m以下	箇所 1.2
	50m超100m以下	" 0.6
	100m超200m以下	" 0.3
	200m超300m以下	" 0.2
	300m超500m以下	" 0.16
索道運搬	500m超1000m以下	" 0.08
	100m以下	" 0.41
	100m超500m以下	" 0.19
	500m超1000m以下	" 0.11

表2.4.8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
モノレール運搬	50m以下	箇所 1.66
	50m超100m以下	" 0.74
	100m超200m以下	" 0.60
	200m超300m以下	" 0.35
	300m超500m以下	" 0.31
	500m超1000m以下	" 0.10
索道運搬	100m以下	" 0.65
	100m超500m以下	" 0.23
	500m超1000m以下	" 0.13

2-4-5 日当たり作業量

日当たり作業量は下表を標準とする。

表2.4.6 現場内小運搬の日当たり作業量

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
人肩運搬	50m以下	t 5
	50m超100m以下	" 2
特装車運搬(クローラ)	100m以下	" 5
	100m超500m以下	" 2
	500m超1000m以下	" 2
モノレール運搬	100m以下	" 5
	100m超500m以下	" 4
	500m超1000m以下	" 3
索道運搬	100m以下	" 5
	100m超500m以下	" 4
	500m超1000m以下	" 3

表2.4.7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
モノレール運搬	100m以下	箇所 0.44
	100m超500m以下	" 0.14
	500m超1000m以下	" 0.077
索道運搬	100m以下	" 0.41
	100m超500m以下	" 0.19
	500m超1000m以下	" 0.11

表2.4.8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
モノレール運搬	100m以下	箇所 0.57
	100m超500m以下	" 0.38
	500m超1000m以下	" 0.10
索道運搬	100m以下	" 0.65
	100m超500m以下	" 0.23
	500m超1000m以下	" 0.13

地質調査業務

改定

現行

摘要

2-5 足場仮設

2-5-1 適用範囲

足場仮設は、市場単価方式による地質調査に適用する。

1. 市場単価が適用できる範囲

足場仮設のうち、平坦地足場、湿地足場、傾斜地足場、水上足場に適用する。

2-5-3 市場単価の設定

2. 市場単価の規格・仕様区分

表2.5.1 足場仮設の規格区分

種別	規格	単位
平坦地足場	高さ0.3m以下	箇所
	高さ0.3m超	〃
湿地足場		〃
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上～30°未満	〃
	地形傾斜 30°以上～45°未満	〃
	地形傾斜 45°以上～60°	〃
水上足場	水深1m以下	〃
	水深3m以下	〃
	水深5m以下	〃
	水深10m以下	〃

上表以外は別途計上する。

2-5-5 日当たり作業量

日当たり作業量は下表を標準とする。

表2.5.3 足場仮設の日当たり作業量（設置・撤去）

種別	規格	単位	日当たり作業量
平坦地足場	高さ0.3m以下	箇所	2.0
	高さ0.3m超	〃	1.25
湿地足場		〃	1.0
傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃	1.0
	地形傾斜30°以上～45°未満	〃	0.5
	地形傾斜45°以上～60°	〃	0.5
水上足場	水深1m以下	〃	0.5
	水深3m以下	〃	0.5
	水深5m以下	〃	0.3
	水深10m以下	〃	0.3

2-5 足場仮設

2-5-1 適用範囲

足場仮設は、市場単価方式による地質調査に適用する。

1. 市場単価が適用できる範囲

足場仮設のうち、平坦地足場、湿地足場、傾斜地足場、水上足場に適用する。

2-5-3 市場単価の設定

2. 市場単価の規格・仕様区分

表2.5.1 足場仮設の規格区分

種別	規格	単位
平坦地足場		箇所
湿地足場		〃
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上～30°未満	〃
	地形傾斜 30°以上～45°未満	〃
	地形傾斜 45°以上～60°	〃
水上足場	水深1m以下	〃
	水深3m以下	〃
	水深5m以下	〃
	水深10m以下	〃

上表以外は別途計上する。

2-5-5 日当たり作業量

日当たり作業量は下表を標準とする。

表2.5.3 足場仮設の日当たり作業量（設置・撤去）

種別	規格	単位	日当たり作業量
平坦地足場		箇所	2.0
湿地足場		〃	1.0
傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃	1.0
	地形傾斜30°以上～45°未満	〃	0.5
	地形傾斜45°以上～60°	〃	0.5
水上足場	水深1m以下	〃	0.5
	水深3m以下	〃	0.5
	水深5m以下	〃	0.3
	水深10m以下	〃	0.3

地質調査業務

改定

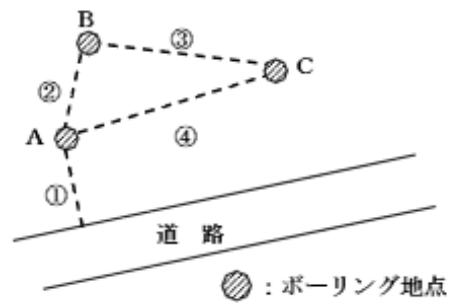
現行

摘要

第3編 地質調査業務
 第2章 地質調査運用 (参考資料)
 第1節 機械ボーリング
 1-2 運搬費の積算

(4) 総運搬距離及び設置距離について

2) モノレール運搬設置距離・設置箇所計算例



case1
 設置距離=①+②+③
 設置箇所数=1箇所

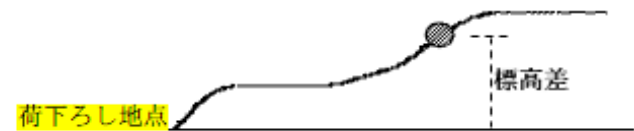
case2
 設置距離=①+②+④
 設置箇所数=2箇所

なお、積算に当たっては経済比較により安価な方を採用すること

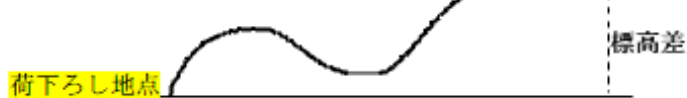
(5) 補正係数の設定について

1) 標高差の考え方

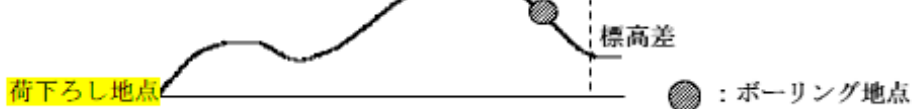
例1



例2



例3



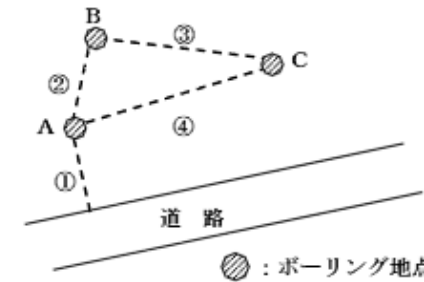
人肩運搬もしくは特装車で現場内小運搬を行う場合の「換算距離」における標高差は、図に示すとおり荷下ろし地点からボーリング地点までのルート上での最大の標高差とする。

なお、搬入路伐採等における標高差も同様の考え方とする。

第3編 地質調査業務
 第2章 地質調査運用 (参考資料)
 第1節 機械ボーリング
 1-2 運搬費の積算

(4) 総運搬距離及び設置距離について

2) モノレール運搬設置距離・設置箇所計算例



case1
 設置距離=①+②+③
 設置箇所数=1箇所

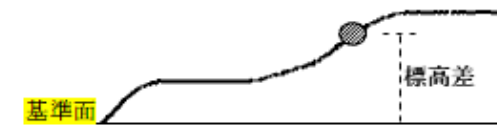
case2
 設置距離=①+②+④
 設置箇所数=2箇所

なお、積算に当たっては経済比較により安価な方を採用すること

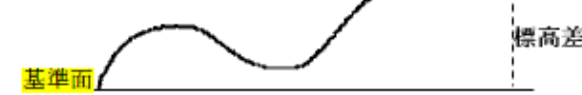
5) 補正係数の設定について

1) 標高差の考え方

例1



例2



例3



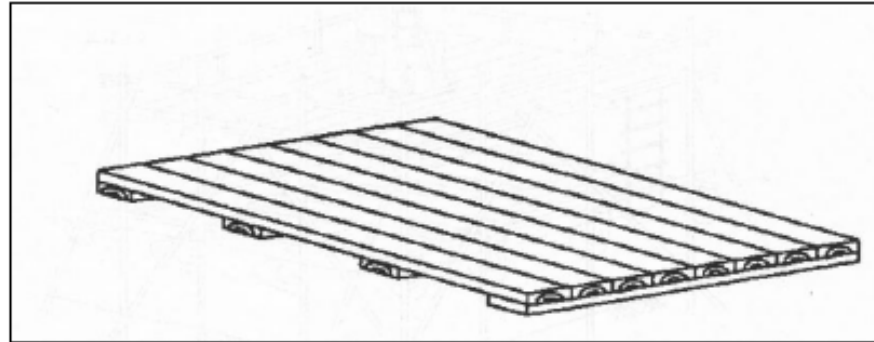
人肩運搬もしくは特装車で現場内小運搬を行う場合の「換算距離」における標高差は、図に示すとおり基準面からの最大標高差とする。

なお、搬入路伐採等における標高差も同様の考え方とする。

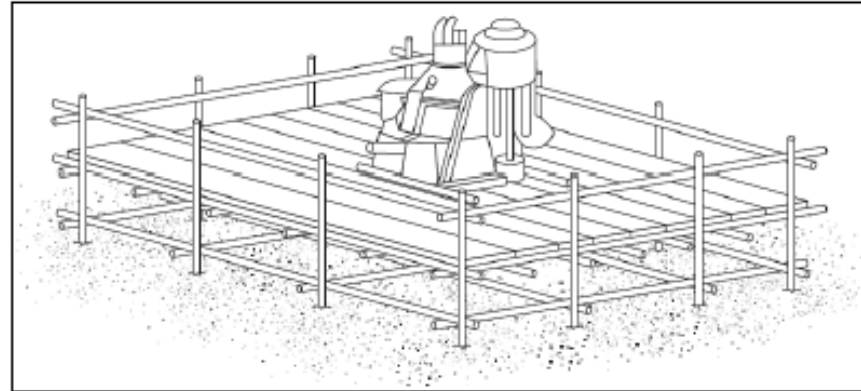
積算基準
(参考資料)

改定

第3節 足場仮設
3-1 足場等の概念図
(1) 平坦地足場



平坦地足場 (0.3m以下) | (板材足場)

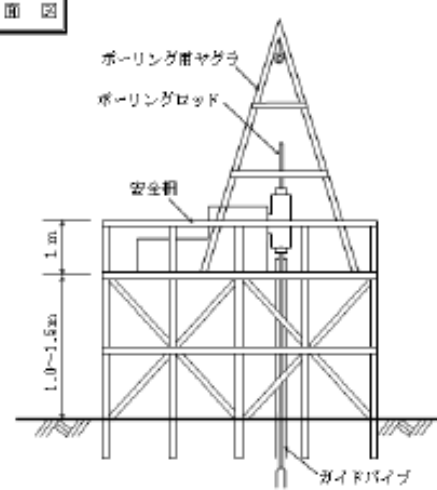


平坦地足場 (0.3m超) (嵩上げ足場)

平面図



側面図

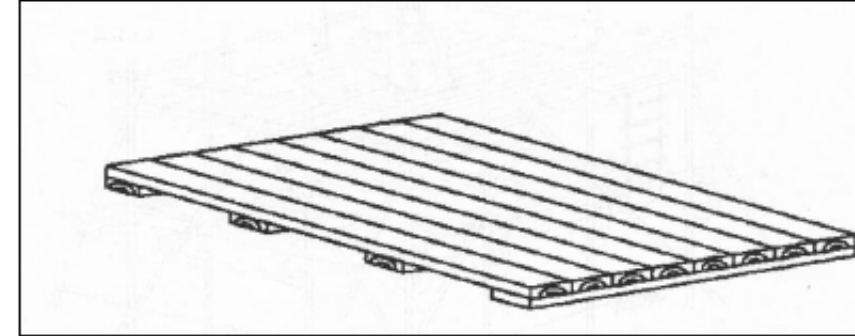


(嵩上げ足場)

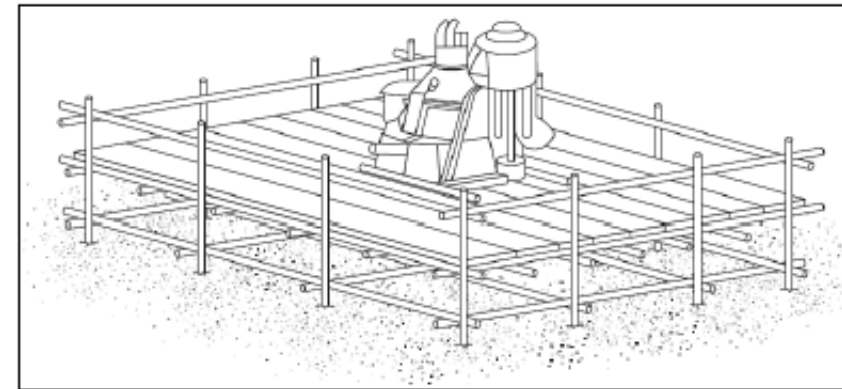
図2-3-1 平坦地足場概念図

現行

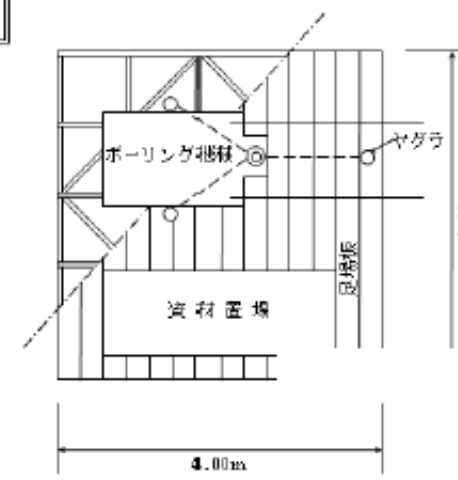
第3節 足場仮設
3-1 足場等の概念図
(1) 平坦地足場



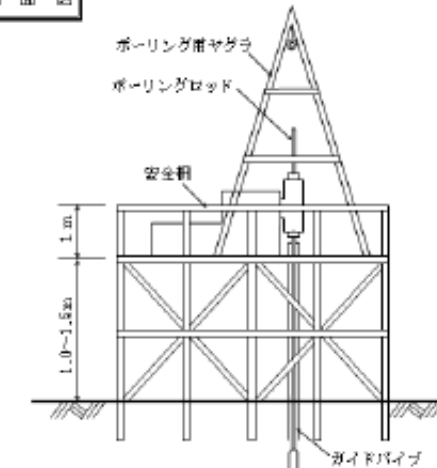
(板材足場)



平面図



側面図



(嵩上げ足場)

図2-3-1 平坦地足場概念図

摘要

積算基準
(参考資料)